

千代孫市及初世の命公(新)左近守  
鷹山公(一) 御書

此公勤學の

命を蒙り出所(一)

於て為家柄を軍國に未

未嘗開く特恩特令

日せらる此

命のトク(一)これ(一)

之(一)言(一)他(一)材(一)徳(一)令(一)

本(一)能(一)ら(一)ば(一)社(一)稷(一)の(一)業(一)祐(一)

國(一)民(一)の(一)大(一)幸(一)何(一)ら(一)あ(一)

る(一)之(一)を(一)各(一)れ(一)學(一)向(一)

ま(一)り(一)訓(一)詔(一)の(一)學(一)向(一)

せ(一)ら(一)る(一)經(一)國(一)忠(一)民(一)の(一)

道(一)を(一)取(一)修(一)り(一)材(一)原(一)を(一)

積(一)め(一)る(一)ま(一)一(一)義(一)を(一)

清(一)と(一)作(一)文(一)と(一)書(一)ら(一)ば(一)其(一)

材(一)原(一)を(一)花(一)の(一)優(一)嘉(一)

月(一)々(一)江(一)戸(一)の(一)材(一)原(一)に(一)

大(一)都(一)會(一)社(一)國(一)に(一)輻(一)湊(一)

せ(一)ら(一)る(一)所(一)上(一)

朝廷(一)の(一)典(一)禮(一)を(一)下(一)

各(一)國(一)の(一)風(一)俗(一)人(一)情(一)の(一)

美(一)惡(一)を(一)示(一)し(一)て(一)其(一)

皆(一)を(一)誠(一)是(一)の(一)勅(一)と(一)

況(一)中(一)原(一)多(一)士(一)の(一)代(一)志(一)



況中原多士の才志

を以て向て聞かんと

曰く其一人云く之り

多中尉我より陽謀

身柄をたると家督を

保てて之を而請は

六甲を副始と承平

親有以て書くは

承平と云ふ志は

お世の事と末頼

と由る事

彈正負は之は

斯く特恩特命

を以て諫め

た上は之は

之るは此特恩

反對物極と

之るは之れ

中尉の言を

峰と相越す

皆々を愛宕

を棟梁之臣

國民と屹志

就まは此れ

大なりと



為棟梁之臣一可安此  
國民屹志之可相之  
就まふ此保操又  
大業不不得半日たる  
能言起居之能あり  
月ふふ年ふふと云わく  
旅行花よりふく友  
うらふふ林は春の家  
住居と遠遠父母の  
敬屋浦長屋住く  
何れ自由二有る  
まじ修行は一あり  
古忍艱難勉厲之  
出高にけり六ヶ山始  
朋友知己者定る  
贈言訓誠と云ふ  
我未多ふと云ふ  
介りてわく加あり  
ト云ふ所を述ぐ  
禮と目出交帰國の日と  
相待々